

「平成29年度京都安全衛生大会」を開催



京都安全衛生大会の主唱者として挨拶を行う高井局長

平成29年7月4日、京都テルサのテルサホールにおいて、京都労働局（局長 高井 吉昭）及び府下各労働基準監督署が主唱する「京都安全衛生大会」が、約800名の参加者のもとで開催されました。

大会は労働災害によって亡くなられた方々に対する黙祷の後、主催者代表の公益社団法人京都労働基準協会長の坂本会長の挨拶に続き、主唱者として高井京都労働局長が挨拶を行いました。

安全衛生表彰式では、京都労働局長優良賞3社、同奨励賞4社、同団体賞1団体及び公益社団法人京都労働基準協会長事業場賞9社、同個人賞6名が、表彰を受けられました。

次にニッタ・ハース株式会社京都工場の堅尾 吉明氏から「安全衛生環境への取り組み」と題して事例発表が行われ、京都労働局の千田健康安全課長の基調講演の後、大成建設株式会社調達本部の小山 文男氏から「ボスポラス海峡横断鉄道工事におけるリスク管理について」と題して特別講演がありました。

全国安全週間の本週間中に開催された本大会で、参加者は労働者の安全の確保と健康の保持増進、快適な職場環境の実現をめざすことを再確認しました。